

青年協ニュース

2013-07
2014年4月23日
全日赤青年協

メーデーに参加しよう

5月1日はメーデーです。今年は医労連・全労連が全国的に若者の要求アピール大作戦inメーデーを取り組みます。この企画は、メーデーに青年が参加する事を推進し、要求を全国的に集約し、社会的にアピールするのが目的です。

青年が積極的にメーデーに参加し、若者の要求を掲げアピールしてください。また仕事等で参加出来ない方も、職場でアピールしてください。

単組のプラカード・デコレーションの作成にも青年が積極的に取り組む様にし写真を撮って送って下さい。

送っていただいた写真は、全労連新聞等に掲載される事があります。

メーデーとは

メーデーは、1886年5月1日、アメリカの労働組合が八時間労働制を要求してストライキ・デモ行進を行ったことが起源です。当時は12～14時間労働が当たり前でした。このため、アメリカの労働者は「第1の8時間は仕事のために、第2の8時間は休息のために、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」という「8時間労働の歌」を歌いながらたたかい、8時間労働制をかちとりました。

日本では、1920年5月2日(日曜日)、上野公園で5千人が参加したのが最初です。集会では「(ストライキ等を弾圧した)治安警察法17条撤廃、失業の防止、最低賃金制の確立」を決議。8時間労働制、東京市電争議支援、シベリア即時撤兵の動議を可決しています。その後、戦前のメーデーは1935年の第16回まで各地でとりくまれましたが、36年の2・26事件(軍のクーデター未遂事件)で戒厳令が敷かれたのを機に禁止されました。

戦後46年から再開されました。かつて、メーデーの日には多くの会社が休業日(日赤も創立記念日として休み。施設によっては施設の創立記念日に休み5月1日は仕事のところもある)としていました。

連合はメーデーをお祭りの様にし、開催日も5月1日ではなく前週の土曜日等に行っています。しかし本来メーデーとは労働者の日であることを重視し、全労連のメーデーでは今年も「すべての労働者の大幅賃上げ。最賃は全国一律1000円以上に。

派遣法など労働法制改悪反対。ディーセントワークの実現」等のスローガンを掲げ5月1日に行われます。今、安倍政権による規制緩和等により、労働者の長時間労働や非正規の増大が問題になっており、労働者が、長時間労働、低賃金、不安定雇用で苦しんでいます。今こそメーデーの起源でもある「8時間労働制」など「人間らしく生き、働き続けられる社会」をめざす闘いは重要になっています。さらにディーセントワーク(まともな、適切な働きがいのある仕事)の実現などに取り組むことが重要となっています。



ハラスメント調査にご協力を

憲法生かして暮らしを守ろう!